

膵、胆道、肝領域腫瘍における臨床病理学的・分子病理学的探索研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、1962年から2025年3月31日の間に、外科的切除・組織生検・病理解剖をされた患者さんの中で解析時に包括的同意が得られている患者さんを対象にします。診療に用いた後の組織検体や血液検体の残りや病理診断情報を含む診療録などの診療情報を用います。

2. 研究目的・方法

膵がん・胆道がん・肝がんは、死因の上位を占める治療の難しいがんです。これらのがんに対する診断法・治療法は、より良いものが次々に開発されてきましたが、現在のところは、いまだ、根治が期待しにくい代表的な難治性がんであります。これらのがんには多彩な特徴を持ついろいろな種類のがんがひとまとめにされている現状があります。多くの患者さんの情報を集め、分子病理学的・臨床病理学的な検討を行って多彩な特徴を理解することは、正確な診断、予後の予測あるいは新しい治療法の開発に役立つと考えられます。

本研究では肝胆膵領域のがんの臨床病理学的・分子病理学的特性を理解し、その中から、がんの早期診断、正確な病理診断、予後予測の指標あるいは新たな治療の開発に役立つ知見の探索を行います。

診療に用いた後の組織検体や血液検体の残りや診療録などの診療情報を用いて、がんの特性を臨床病理学および分子病理学的に検討します。

研究実施期間：研究許可日から2027年6月7日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療後の手術で摘出した残余組織検体、血液 等

情報：病歴、カルテ番号、年齢、イニシャル、病理検体番号 等

4. 試料・情報の公表

データの解析結果を論文としてしかるべき医学雑誌での公表、学会発表を実施します。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらかじめ研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。尚、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公

式ホームページより確認することができます(<https://www.ncc.go.jp/jp/>)。

5. 研究組織

国立がん研究センター 平岡伸介

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター先端医療開発センター病理臨床検査 TR 分野 平岡伸介(研究責任者)
〒104-0045 中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511/ FAX 03-3248-2463

研究代表者

国立がん研究センター先端医療開発センター 平岡伸介